

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		8-	7
事業名	ふれあいセンター経費	会計	款	項	目
		一般	3	1	3
施策	2 人にやさしいまち	課名	地域福祉課		
	2-2 支えあいを実感できるまちをつくる	係名			
	2-2-1 地域福祉の推進				
主要施策	②社会福祉協議会、関係団体等の活動支援				

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（施設利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	地域福祉を推進する拠点施設であるふれあいセンターの適切な維持管理を行ない、町民の福祉増進及び福祉意識の高揚を図る。
事業内容	・地域に密着した各種福祉活動の拠点であるふれあいセンターの保守点検及び維持管理を行うとともに、公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、長寿命化を図るため、計画的な改修を実施する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）			
	1	施設利用者延べ人数	15,048	15,938	5,179	人	↑	18,000		
2										
3										
4										
5										
			令和元年度（決算）		令和2年度（決算）		令和3年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B				13,336	81,323	21,324				
財源内訳	直接事業費A				12,016	76,505	15,450			
	うち一般財源				4,583	48,503	7,477			
人件費（千円）B				1,320	4,818	5,874				
内訳	一般職員（人・千円）				0.2	1320	0.73	4818	0.89	5874
	臨時職員（人・千円）				0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	C対象が広すぎる
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	Ⅲ 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	個別施設計画に基づき、財政負担を考慮しながら、計画的に施設改修を実施していく必要がある。照明設備のLED化及び子育て支援センターの整備を実施します。	③取組の課題	平成6年の建設から25年が経過し、施設が老朽化していることから、改修に多大な費用が必要である。
②R2年度に実施した取り組み	経常的な維持管理を行うとともに、照明設備のLED化及び子育て支援センター整備工事を施工しました。	④今後の改善計画	個別施設計画に基づき、財政負担を考慮しながら、計画的に施設改修を実施していく必要がある。来年度は、金属屋根・外壁改修工事設計業務委託を実施します。